

協議会だより

設立25周年記念

編集・発行 大阪障がい者スポーツ指導者協議会 広報部

平成29年3月20日 第78号

<http://osaka-adsपो.org/>

25周年を振り返り

大阪障がい者スポーツ指導者協議会

会長 松本 晃

平成3年に「大阪障害者スポーツ指導者連絡会」が発足し、設立メンバーの一員として参加して25年が経ちました。当時39才だった私も64才になり体のあちこちにガタが出てきています。

私が障がい者スポーツに関わるきっかけは、大阪市の障がい者スキー教室の指導員に欠員が出て急遽参加することになったからです（スキー指導員受験のため指導実績の単位が必要だった）。30才の時でした。そこでは両下肢切断の女性が義足にスキー靴を履きアウトリガーを持って滑っていたり、脳性麻痺で歩くのも大変な人がプルークボーゲンでターンをしている。それを見て大変感動し、翌年からは希望して参加させてもらいました。

最初はスキーだけに関わっていたのですが、当時の長居障がい者スポーツセンターの指導員から水泳を教わる流れで、長居の水泳クラブおようご会の練習にも参加させてもらい、より関わりが深くなりました。障がい者スポーツに何の関心も無かった私が、34年も活動できたのは最初の感動が全てのように思います。これからもこの感動を忘れずに協議会の活動に協力していきたいと思います。

25周年記念講演・祝賀会

平成29年1月29日（日）バトゥール大阪において設立25周年記念講演・祝賀会が行われました。

記念講演には、近畿大学水上競技部監督の山本貴司氏と奥様である山本（千葉）すす氏をお迎えし「トップアスリートになるための試練」をテーマにお話して頂きました。

水泳を始めたきっかけや、練習の厳しさ、また海外での豊富な体験談、とくに指導者として選手を育てる視点等々聴くことができました。

祝賀会では、スライドで25周年を振り返り集まった仲間と会話も盛り上がりました。



大阪障がい者スポーツ指導者協議会は、平成3年に障がい者スポーツ大会等のボランティアやスポーツ技術を指導できるグループとして活動がスタートし設立から25年間、いろいろな研修会を企画しました。またボランティアや大会補助等々の協力も行ってきました。これからも、微力ながら障がい者スポーツを盛り上げ、活動を続けてまいります。



障がい者スポーツ大会



水泳入退水の研修会



テーピングの研修会



アーチェリー



ビームライフル



アキュラシー



国際車椅子バスケットボール大会受付



卓球バレー



いろいろスポーツカーニバル



ブラインドサッカー



ブラインドテニス



ふれあい水泳大会



ずっと活動しています

指導者協議会理事 兼田 理香

平成29年1月29日(日)山本貴司ご夫妻に、大変息の合った素晴らしい講演をしていただき、25周年のお祝いことができました。

平成3年に大阪で初めての指導者養成講習会が開催され、当時長居のスポーツセンターで水泳教室のお手伝いをしていた私達にもお誘いがあり、受講したことが縁となり、大勢の仲間達と出会うことができました。その後、障がい者スポーツに何かお役に立てることがあればということで、協議会の前身となる連絡会を結成し、色々な大会やイベントのお手伝いをさせていただき現在に至っております。

せっかく資格取得しても、個人ではどこで?どのように?障がい者スポーツに関わっていけるのかわからなかったと思うのですが、連絡会・協議会のおかげで数々の行事に参加し、素晴らしい仲間達と共に歩んでくることができました。

3年後には東京オリンピックパラリンピックが開催されます。微力ではありますが何かのお役に立てることができるよう、皆さんと一緒に頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いたします。